



船から望む飯岡漁港と屏風ヶ浦

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2～3
- ★議案質疑……………P 3～4
- ★請願の審査結果……………P 3
- ★第2回定例会の日程……………P 4
- ★一般質問……………P 4～9
- ★常任委員会の審査……………P 10～11
- ★行政視察報告……………P 11
- ★子ども議会……………P 12
- ★議会のうごき……………P 12

第2回定例会のあらまし

平成19年第2回定例会が、6月11日から6月27日までの17日間の会期で開かれました。

この定例会には、条例の一部改正、財産の取得、工事請負契約の締結、教育委員会委員の任命についての同意の件、専決処分承認など13議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。

6月15・18日には一般質問が行われ、10人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の27日には、議員から2件の発議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

中央小学校校舎大規模改造工事契約 二億三千二百五十万円 滝郷小学校校舎大規模改造工事契約 一億七千万円

議案の内容と審査結果

条例の一部改正

◇議案第1号

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が一部改正されたことに伴い、選挙長等の報酬額を改めるものです。

◇議案第2号

旭市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

更生医療に係る所得制限を導入するにあたり、所要の改正を行うものです。

◇議案第3号

旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

結核予防法が廃止されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

◇議案第4号

旭市病院事業の設置等に関する条例の一

部を改正する条例の制定について(可決)

看護師確保対策の一環として、旭中央病院附属看護専門学校の定数を、現行の120人から180人に増員するにあたり、所要の改正を行うものです。

◇議案第5号

旭市国民宿舎使用料条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

施設及び経営改善事業の一環として、利用者のニーズに弾力的に対応するため、使用料に定めている食料等を条例から削除するものです。

財産の取得

◇議案第6号

財産の取得について

(可決)

水槽付消防ポンプ自動車1台を購入する仮契約を締結しましたので、この契約について議会の議決を求めるものです。

◇議案第7号

財産の取得について

(可決)

救助工作車1台を購入する仮契約を締結しましたので、この契約について議会の議決を求めるものです。

工事請負契約

◇議案第8号

工事請負契約の締結について

(可決)

旭市立中央小学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について指名競争入札を執行し仮契約を締結しましたので、この契約について議会の議決を求めるものです。

・ 契約金額	2億3205万円
・ 契約方法	指名競争入札
・ 契約の相手方	旭市二の1469番地 株式会社伊藤工務店



夏休みに入り工事が進む中央小学校

◇議案第9号

工事請負契約の締結について

(可決)

旭市立滝郷小学校校舎大規模改造工事請負契約の締結について指名競争入札を執行し仮契約を締結しましたので、この契約について議会の議決を求めるものです。

・ 契約金額	1億7010万円
・ 契約方法	指名競争入札
・ 契約の相手方	旭市二の1469番地 株式会社伊藤工務店

人事

◇議案第10号

旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

(同意)

現評価員の退任に伴い、後任の評価員を選任するにあたり議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

野口 徳和 氏(入野)

◇議案第11号

旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

(同意)

教育委員会委員1名が8月19日をもって任期満了となるため、後任の委員を任命するにあたり、あらかじめ議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。
再任 服部 紘一 氏(大間手)

専決処分

◆議案第12号

専決処分の承認について【旭市税条例の一部を改正する条例の制定について】

(承認)

◆議案第13号

専決処分の承認について【旭市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について】

(承認)

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、専決処分したものです。

議員提出議案

◆議案第1号

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について

(可決)

◆議案第2号

国における平成20(2008)年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

(可決)

報告

○報告第1号

繰越明許費繰越計算書について

○報告第2号

事故繰越し繰越計算書について

○報告第3号

旭市土地開発公社の事業経営状況について

○報告第4号

財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

○報告第5号

専決処分の報告について



鈴木 正道議員
逝去

鈴木正道議員は家族の看護の甲斐もなく平成19年4月30日午前9時57分急逝されました。故人は、昭和62年に旧旭市議会議員選挙に初当選し、平成7年に副議長、平成11年、平成14年、平成16年、1市3町合併後の平成18年を含め、4度にわたり議長のを要職をつとめました。この間、市政発展のために大変なご尽力をされました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

請願の審査結果

第2回定例会では、請願3件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区分	件名	審査結果
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願	採択
請願第2号	「国における平成20(2008)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択
請願第3号	「地域手当の県内格差支給の是正に関する意見書」採択に関する請願	不採択

主な議案質疑

議案第2号

Q 今回の条例の改正については、新たに所得制限を導入することとして、市町村民税の所得割の額が23万5000円となる重度心身障害者を助成の対象としない内容であり、これを平成19年8月1日から施行することとし、障害者自立支援法に基づく高額治療を継続している重度心身障害者については経過措置が設けられるという内容です。旭市としては、所得制限を導入することについて、どのような検討がなされたのか。

A 今回の改正は、県の補助金の対象外となる世帯の収入状況や家族構成、また、近隣市の状況等を踏まえて改正をさせていただくものです。

Q 現在、医療費助成を受けている人は何人で、今回の改正により、対象から外れる人は何人いるのか。また、経過措置による対象者は何人で、どのような障害を持っている方なのか。

A 医療費助成を受けている方は、全体で631人です。今回所得制限により対象外となる方が57人ぐらいと予定しています。経過措置による対象者は現在10人です。障害の内容ですが、透析等をしている腎臓機能の障害者とか、免疫機能の障害者の方、それらの障害を持つている方ということです。

議案第5号

Q 旅行形態の変化とか、あるいは宿泊者のニーズ、これらに対応するように弾力的な運営をしたいということから、食料、予約料の削除をするということですが、食事の申し込みについてはどのような形ですか。

A 食料の設定は、今までどおり設定して運用を行っていききたい。申し込みについても、宿泊申し込み同様に今までどおり対応していきたいと考えています。

予約金の削除ですが、メール等での申し込みが非常に増えておりますし、そのほか電話、ファクス等々、さまざまな予約の手法があります。なるべく円滑な予約をとりたいということで今回削除ということであります。

Q 食事自体は季節によって対応するというところで、実際どのようなことを考えているのか。また、市民の方々にどのように周知をするのか。

A 食事ですが、メインは、旭の食材を生かしたいということで、その料理を提供していくことを目的にしています。経営改善の中では、現在、調理指導員、技術指導員を設置していますし、また、四季に応じた食のデザインもフードコーディネーター等をお願いしているところなんです。次に、周知の方法ですが、ホームページ、パンフレット、メディア等も使いながらやっていきたいと思いますが、手法については、現在コンサルタ

第2回定例会の日程

6月11日(月) (開会)

- ・追悼
- ・人事の紹介
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上げ
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明及び報告の説明

6月13日(水)

- ・議案の質疑
- ・常任委員会へ議案・請願を付託

6月15日(金)

- ・市政に関する一般質問

6月18日(月)

- ・市政に関する一般質問

6月20日(水)

- ・公営企業常任委員会

6月21日(木)

- ・建設経済常任委員会委員協議会

6月22日(金)

- ・文教福祉常任委員会

6月25日(月)

- ・総務常任委員会

6月27日(水)

- ・常任委員長の議案・請願報告

〈質疑・討論・採決〉

◇追加日程

- ・発議案の上げ
- ・提案理由の説明
- ・質疑・討論・採決
- ・東総地区広域市町村圏事務組合議会議員の選挙
- ・事務報告

(閉会)

ントの方と詰めており、十分検討した上で実行していきたい。

議案第8号

Q この契約にかかわる入札は5月30日に行われたものであり、今定例会に提出された2件のほかにもう2件の学校関係の入札が実施されたものと思います。うち1件については、入札を2回実施するも落札者がなく、また随契もできず不調に終わっています。これら4件の設計者は。

A 中央小学校は、飯島建築設計、滝郷小学校は、株式会社網中建築設計、鶴巻小学校は、株式会社大貴設計、第一中学校は、株式会社東総設計です。

Q 地方公共団体における契約は一般競争入札が原則であると思いますが、指名競争入札に至った経緯と、3件の予定価格に対する落札率は。

が、指名競争入札に至った経緯と、3件の予定価格に対する落札率は。

A

現行の要綱では設計額が3億円以上の工事の中から選定して一般競争入札を実施することになっており、今回についても、工事期間を確保したりとか、あるいは現在入札及び契約制度につきまして内部で検討中であるということ、指名競争入札を実施させていただきました。

3件の予定価格ですが、中央小学校校舎大規模改造工事の予定価格(消費税込)が、2億3358万8250円、落札額が2億3205万円で、落札率は99・34%です。次に、滝郷小学校校舎大規模改造工事の予定価格が1億7084万9700円、落札額が1億7010万円で、落札率は99・56%です。次に、第一中学校校舎耐震改修工事の予定価格が1億3417万1100円、落札金額は1億2054万円で、落札率は89・84%です。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。

◆木内欽市議員

- 1、一般廃棄物、産業廃棄物の不法投棄の防止対策について
- 2、一般廃棄物の最終処分場について
- 3、都市計画の予定について
- 4、広報誌の活用について

◆滑川公英議員

- 1、ごみ焼却場について
- 2、地域間格差の著しい生活道路の整備について

- 3、旭中央病院建替工事費317億円の基本計画について

- 4、入札制度改革について
- ◆景山岩三郎議員
- 1、旭市総合計画におけるリーディングプランについて

◆伊藤房代議員

- 1、妊婦健康診査について
- 2、子育て支援について
- 3、シルバー人材の雇用について
- 4、年金問題について

◆向後和夫議員

- 1、飯岡の観光について

◆伊藤保議員

- 1、放課後児童クラブについて
- 2、身体障害者支援について

◆日下昭治議員

- 1、契約事務について
- 2、基本計画について

◆高橋利彦議員

- 1、市長の政治姿勢について
- 2、市立病院の現状と再整備事業計画について
- 3、旭地域のインフラ整備について
- 4、小中学校耐震事業の進捗状況等について
- 5、広域ごみ処理建設事業の経過と今後の進め方等について

◆明智忠直議員

- 1、産業の活性化の支援について
- 2、教育問題について

◆平野浩議員

- 1、環境問題について
- 2、水道事業について
- 3、社会体育施設について

【第2回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は6月15日・18日に行われ、10人の議員が登壇しました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

ごみ焼却場候補地の 反対陳情について

環境問題

Q ごみ焼却場、新川西岸遊正地区候補地反対の陳情について、去る5月15日、共和、嚶鳴地区全区長さん方が5142人分の反対署名簿を市長に提出しましたが、この事実をどのように考えているのか。

A 非常に重く受け取っております。

私は、数の問題でなしに、こういった市民の皆さん方の声をしっかりと受け止めて、そして十分ご理解をいただきたい上で、建設に当たるなら当たっていく。その理解がいただければそれで無理押しをするようなことは絶対にしません。

※注 銚子、旭、匝瑿の3市が旭市二の新川西岸遊正地区を建設候補地とした広域ごみ処理施設建設について、3市でつくる東総地区広域市町村圏事務組合（管理者・旭市長）は7月9日、白紙に戻す考えを発表いたしました。

最終処分場の使用年数は

Q 一般廃棄物の最終処分場、櫻井グリーンパークについて、使用年数はあと何年ぐらいか。次の処分場はどこに設置をする予定なのか。

A 平成9年3月に完成し、5月から埋め立てを開始しています。全体の埋め立て容積は16万8000m³ですが、平成18年度末の残余容量は6万1000m³となっています。過去の実績から推計すると、年間の処理量が約1万m³です。で、残りの使用年数は、5、6年程度と見込んでいます。

最終処分場については、現在3市の既存施設の残余容量が少ない状況です。ごみ処理広域計画では総合処分も念頭に入れていることから、新たな最終処分場については広域で建設し、一元化して処理することを考えています。また、焼却施設を除く他の2市から建設することが公平であると考えています。

不法投棄の防止対策は、不法投棄の状況と今後の防止対策は。

不法投棄の防止対策は

Q 一般廃棄物、産業廃棄物の現在の不法投棄の状況と今後の防止対策は。

A

不法投棄は、海岸線の保安林内や、台地の山林地域などに多く不法投棄されていますが、現在は市内の一部において、民有地で十分に管理されていないところ、田んぼわきや道路わきにゲリラ的に建築廃材、テレビ、冷蔵庫、タイヤ等が不法投棄されています。

不法投棄の防止対策は、定期的に市内全域に職員による巡回やシルバー人材センターに委託して週5日の環境パトロールの実施、不法投棄監視カメラの設置、不法投棄の多い場所への防止看板の設置



櫻井グリーンパークの埋め立ての様子

などを行っています。また、各地区より選出された不法投棄監視員の監視活動により防止に努めており、見つけた場合には、すぐに環境課に連絡をお願いしています。

Q ごみのポイ捨てですが、不法投棄防止対策として報償制度なども取り入れて情報提供により不法投棄者が判明した場合、報償金を支払い、衆人環視により不法投棄も防止できますし、抑止力にもなり、結果的に市民の不法投棄に対する啓蒙啓発につながり、旭市の目指しているきれいなまちづくりに大きな力になると考えますが。

A 提案があつた件ですが、早速検討してみたいと思います。

制度改革の具体化へ

入札制度

Q 旭市では、入札制度の改革が先送りされています。ほかの自治体から比べると対応が極めて遅いと思います。が、どのように改革していく方針なのか。

A

12月以降の議会の議論等を踏まえ、今年5月に旭市建設工事等入札及び契約制度の検討委員会を内部的に立ち上げました。一般競争入札で実施できる建設工事の金額等の引き下げ、あるいは郵送事後審査方式の制限付き一般競争入札、いわゆるダイレクト入札の試行について、また電子入札の導入年度の前倒しについて、具体的な検討に入りま

した。こういった一般競争入札の実施導入に向けて、必要な条件整備等をいろいろ議論しながらよいものにしていきたいと考えています。

厳正な指名競争入札を

Q 小・中学校の耐震工事を指名競争入札により次々に発注しているが、厳正な指名競争入札選定基準がどのような機能しているのか。

A 指名競争入札により建設工事を発注する場合には、旭市建設工事指名業者選定基準規程により工事ごとに参加基準を照らし合わせて業者を決定しています。今回の場合は建設工一式で1億円以上ということで、A等級の業者を選定しています。指名の業者数については10社以上ということで、実際に13、14社を選定したところです。これに加えて、公共工事ということで、特定建設業を取得している者というような条件をつけたら、市内の業者と市外の業者を多少差をつけて、経営事項審査総合評価点を市内業者は750点、市外業者の場合には800点以上ということで選んでいます。

建替工事費317億円の 基本計画は

中央病院

Q これまでの負債153億円、今回の負債209億円をプラスすると362億円、19年度予算の事業売上げが

303億円、負債が60億円近く超過します。普通、一般企業に対する金融機関の貸し出し限度額は売上げが上限だと聞いています。医療機関だと、このリスクをとる必要はないのか。

A 現在の見込みでは、起債残高のピークは平成22年度で、その額は310億円余りを想定しています。年間の医業収益は平成22年度で288億円と想定していますので、その1・08倍ということになります。ですから当院の規模を考えると大きな額ではないと判断しています。今後は、さらに負担の軽減を図っていくために、県に対する補助金の要望なども行っていきたいと思っています。

市と病院の基本計画の共通性は

Q 市の基本計画を作成していた当時、病院の基本計画の委託業者、あるいは病院職員と話し合いをして共通性を持たせたのか。

A 市の総合計画ですが、これは市全体の施策を定めたものであり、この策定に当たっては、当然職員の中での策定委員会、計画策定の担当者会議、各課のヒアリング、これは中央病院等も含めて実施しています。

基本計画には病棟の整備という広くとらえた形で事業計画を載せています。市の基本計画においては、今後5か年の事業を盛り込み、各事業の実施に当たって具体的な内容は、個別の事業の基本計画

でつくっていくことになります。ですから、今病院が進めている再整備計画は、その一つであると認識しています。

建設単価が高いのでは

Q 新本館は、現在の駐車場用地に地上12階建てで、建築面積5万3310㎡で、工事費が約185億円です。そのうち設計監理費7億円で、坪110万円、平均的な病院建設の単価60、70万円から見ると大変高くなっているが、これは地盤が悪いとか、何か特別な理由があるのか。それとともに、事業費の項目別内容についても伺います。

A 新本館の建設工事は、177億423万4000円です。面積を5万3310㎡、単価を33万2850円として計算しました。免震構造RC造で地上12階、工事期間を27か月としました。監理料は、全体で6億9400万円です。重度な改修工事を㎡当たり20万円、中度な改修工事を16万円、軽度な改修工事を8万円などしました。1号館が6億6920万円、2号館が11億2572万円、3号館、東側ですが4830万円、7号館が18億5180万円、PET棟は用途変更ですが50万円、合計で36億9552万円です。

建設の単価が高いのではないかとということですが、全部で73の工事があり、一番高いのが、㎡当たり68万4000円くらいから一番下が18万5000円ということで、今回の33万円というのは66番目

に当たることになりますので、材料が高くなっている折りでもありますので、低い方かと思えます。

再整備事業の必要性は

Q 病院の望ましい運営形態について、伊藤市長は東総地域の医療連携の質問に対して、旭中央病院は県にとってもうなくてはならない病院になっている、ただ旭市が単独で責任を持てる病院ではないだろう、私はそうに考えていると答弁しています。そういった意味で、旭市が単独で病院を建設しようとしているこの基本計画と矛盾していますが、

A 東総地域の医療連携については、時代の流れもあり、今後は緊密な連携が必要となってくるものと認識していますが、再整備事業は以前から計画を進めており、当医療連携とは切り離して考えています。

現在医療は地域間競争と言われるように体力のある病院とそうでない病院とで格差が広がっています。当院においても適切な時期に適切な投資を行っていかなければ、決して例外ではありません。今後においても正しい医療を実践し、また再整備事業によって人材を確保する機能を強化し、病院の耐震化と機能的診療の効率化を図っていくことによってさらに安定した経営基盤を築いていかなければならないと考えているわけです。

開設状況は

児童クラブ

Q 各小学校で児童クラブを利用して
いる児童は何名いるのか。

A 各小学校の放課後児童クラブの利用
児童数は、5月現在で中央小73名、

矢指小26名、豊畑小31名、琴田小12名、
飯岡小19名、鶴巻小8名、中和小15名、
干潟小36名、共和小38名、富浦小26名、
三川小25名、嚶鳴小44名、滝郷小6名、
古城小13名、計372名です。

Q 現在の利用時間ですが、放課後か
ら何時まででしょうか。

A 放課後児童クラブの開設日及び開
設時間については、原則として、

月曜日から金曜日までは下校時から午後
5時まで、土曜日は午前8時30分から午



富浦児童クラブの様子

後5時まで、夏休み、冬休み、春休み、
県民の日については、土曜日と同様で午
前8時30分から午後5時までとなってい
ますが、現在は開設時間をすべて午後6
時まで延長して実施しています。

Q 募集規定数に満たない場合、どの
ようにするのか。廃止にしてほか

の学校と一緒にすることはあるの
か。

A 現在は人数の多い少ないにかかわ
らず継続して児童クラブを維持し
ていきたいと考えています。

Q 14校のうち1校がまだ開設できて
いないが、来年度実施できるのか。

A あと1校は萬歳小学校ですが、希
望がありましたら検討していきたい
と思います。

全国一斉、学力学習 状況調査の結果は

教 育

Q 学力学習状況調査の状況は。今後
どのような方向でこの調査を活用
していくのか。

A 全国一斉の学力学習状況調査につ
いては、今年4月24日に全国の小
学校6年生と中学校3年生を対象に、国
語と算数、数学が実施されました。旭市
内においても、小・中学校20校がこの調
査に参加しました。これは義務教育の質
を保障するための新たな仕組みの構築に
向けて、国の責任により義務教育の結果
の検証を行うための具体的方策の一つと

して実施されたものです。

調査内容は、ただ単に知識、技能の習
得状況を見るだけではなく、実生活に活
用できる力、知識、技能等を実生活のさ
まざまな場面で活用する力等を調査する
ものです。各小学校では児童・生徒の確か
な学力をさらに育むための資料として、
国や都道府県の結果を含め、調査結果を
分析し、また個人においても調査結果を
個々に分析し、向上のための対策を講ず
る予定です。

なお、結果は9月ごろに国から提供さ
れ、全国及び各都道府県の調査結果が公
表されますが、序列化や過度の競争等に
つながることのないよう、他と比較する
情報の提供はしないこととなっています。

海上中の跡地は社会体育施設でないのか

Q 3月31日をもって海上中学校は移
転をして、教育委員会の管理下を
離れて、跡地は海上野球場ほか18施設と
同等のものであり、運動場の利用は、跡
地利用が決定するまでの期間、十分有効
な利用が可能であると思うので、当然社
会体育施設として位置づけるべきだと思
うが。

A 旧海上中のグラウンドは、貸し出
しを目的とするものとしては考え
ていません。今後の活用については、市
民のためにどのような方法、どのような
サービスをするために活用するのかとい
うことを考えた上で検討をして決定して
いきたいと考えています。

妊婦の 無料健診拡大へ

保健・福祉

Q 旭市は、妊婦健康診査は2回まで
無料となっています。少子化の時
代と言われている現在、安心して子ども
を産めるように妊婦健康診査無料健診の
回数を増やすことはできないか。

A 妊婦の無料健診拡大ですが、最低
5回程度は公費負担を実施するこ
とが原則であるとの考えから、県内各市
町村では対応を検討中ということです。
本市においても、十分検討していきたい
と考えています。

乳幼児医療費助成は県と同基準に

Q 乳幼児医療費助成について、就学
前、または小学6年生まで、また
は中学3年生まで医療費の無料化が進ん
でいます。旭市は3歳未満までと聞い
ているが市長としてはどのように考えてい
るか。

A 現在旭市では、医療費の助成につ
いては、県の基準と同様に3歳未
満の子どもの入院、通院及び3歳から就
学前の子どもが入院に要した医療費を助
成しています。これを県が10月より子ど
もの入院、通院の対象を3歳未満から4
歳未満に引き上げる予定ですので、それ
にならって本市においても、その方向で
今準備を進めているところです。

65歳未満の障害者は830名

Q 近年40代、50代の方が脳卒中やくも膜下出血などの病、あるいは事故等によって身体障害者になってしまいう方々がありますが、65歳未満の障害者はどのくらいいるのか。

A 65歳未満で身体障害者手帳を所有している方は、19年3月31日現在で830名です。

障害者への雇用支援は

Q 30代から50代の方々が非常に軽度で済んでいる場合が多く、その中で社会復帰を目指そうと思って必死になって仕事を探しているが、シルバー人材センターのような施設を設けるというようなことは考えているか。

A 障害者の雇用支援と生活支援を行う東総障害者就業生活支援センターが八日市場駅前にできました。これは海匝地域全体の障害者の方々が利用いただけるようにということです。これらのセンターへも月大体100名以上の方が相談等いただいています。

銚子の職業安定所の方でも障害者の方の求職登録ということで、350名ほどが求職登録をされています。そのうち約200人が就職できたというようなことです。ので、当面は職業安定所の方への求職を登録していただくということと、支援センターの方も十分に活用をいただく



4月2日に八日市場駅前に開設された東総障害者就業・生活支援センター

ということ、改めて市の方でそういう施設を立ち上げるといったことについては、まだ検討していない状況です。

市としても、関係機関と連携を図り、情報提供を積極的に行い、障害者の皆様の就労機会の拡大に取り組んでいきたいと考えています。

管理棟にトレーニングルームを設置

パークゴルフ場

Q 旭市総合計画の主要施策の中に健康づくりの推進計画があり、その一つとして、健康増進、交流の場として健康パークの整備を上げているわけですが、総合計画によると、目標最終年次における65歳以上の人口は4分の1を占めるとされており、いかに元気に楽しく、

安心した老後を過ごせるかがこれからの市政に課された大きな問題であることは否めない事実です。

また、トレーニングルームとの併用をどうするのかという問題もあります。市が運営するのだから無償とか、非常に安いことはあってはならないと思うが。

A 健康パークは、市民の健康増進と海岸地域の振興と活性化を目的としています。運営形態、利用料ですが、今、庁内の検討委員会で検討中です。トレーニングルームの併用については、

現在福祉センターにあるトレーニングルームを使用する方々から使用するに当たって集中できない。また、非常に狭いからです。今よりも環境の良い場所という苦情や意見があり、今度パークゴルフ場に管理棟を設置しますので、非常にロケーションの良い管理棟の2階部分に設置することに決めさせていただきました。これにより、施設の関連性を十分發揮できるようにして、相乗効果を図っていききたいと考えています。

新市を一つの都市計画区域に

都市計画

Q 良好な住環境を維持するために定められた都市計画法ですが、旧3町にはそういった規制がありませんでした。合併して新市となって2年が経過します。そろそろ都市計画の網をかぶせる時期になっていると思います。旧3町

へのこの後の対応は。

A 都市計画については、旧3町を含めて新市を一つの都市計画区域に指定して、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を行うことが望ましいと考えています。

今後の予定ですが、都市計画区域、用途地域の見直し、都市マスタープランの策定は、平成19年度から平成21年度にかけて行いたいと思っています。都市計画決定、変更手続き等は、平成21年度以降になると思います。

旧3町への住民の周知ですが、まず、都市計画マスタープランの素案ができた段階で、地区別説明会の開催、広報、ホームページに掲載するなどして、広く市民への周知を図っていききたいと思っています。市民の意見を十分反映させながら計画を策定していききたいと考えています。

処理人口普及率は7・6%

下水道

Q 現在旭駅周辺南側地域の下水道整備を行っています。市全体及び下水道計画区域の普及率はどのくらいか。

A 旭市の公共下水道については、平成5年度に事業認可を取得、平成6年度より工事に着手し、平成19年3月末までの供用開始区域は145・9ヘクタールとなっています。

下水道処理人口普及率（総人口に対して下水道が利用できる人口の割合）は7・

6%です。水洗化率（供用区域内対象人口に対する接続人口の割合）は55・2%です。

事業の継続は果たしているのか

Q 現在供用開始している家が1865戸、その中で接続は1090戸

ということで約半分ですが、普及率が悪い中でどういこととで接続を進めているのか。

接続の使用料が年間4800万円しかない、それに対して一般会計を含めた中でランニングコストだけに要する費用が約4億7000万円、こういう下水道事業、果たしているのかどうか。

A 接続しない理由としては、排水設備等の改造費にお金がかかる、家屋の老朽化により、水洗化だけではなくて家全体を直さなければいけない、もう一つは、地形的に接続できないような状態であるという理由があります。最終的にはそこから流れる水が水路を伝い、仁玉川などの河川へ流れていきます。そうしますとその水が必然的に悪化していくというのが見えてきます。あくまでも環境を大事にしたいという形で接続をお願いせざるを得ないということとで考えています。

下水道事業に関しては、既に終末の処理場も整備されておりまして、できるだけ普及率を高める努力をさせていただきながら効率の改善を目指しながら今後も続けていきたいと考えています。

飼料高騰などに対する市の対策は

農業

Q バイオエタノール生産に伴い、現実には飼料の高騰、とうもろこし、

さとうきび、大豆等の輸入減による製品の値上げが目に見えてきている。旭市でも独自の取り組みを視野に入れて対策を講じていかなければ、基幹産業である農業が崩壊の危機にさらされてしまうのでは。

A 食料を燃料に使うというのは、少し無理があるのではないかと思います。遊休地に飼料作物を作る、それに補助金を若干出していただけのような、そんな仕組みなども国・県にお願いしていきたいと思っています。

飯岡海上連絡道路のルートは

道路

Q 中央病院アクセス道、飯岡バイパスと主要地方道銚子旭線を結ぶ飯岡海上連絡道路整備の進捗状況は。

A 中央病院アクセス道については、東西線・南北線ともに現在用地交渉を実施している段階です。東西線は21年度、南北線は旭警察署と中央病院の間のことですが、22年度完成を目指して努力している段階です。

飯岡海上連絡道路の現時点での基本設

計の概要ですが、ルートを二つに絞って検討している段階です。一つは、国道飯岡バイパス恵天堂入り口交差点から海上野球場東側を通り、還来寺の西側、JRのガード、消防海上分署わきの県道銚子旭線に至る約2・2キロです。もう一つは、JRガード下の方に向かわずに普門院東側から市道0209号線大坂を上り、鶴巻小学校東側から県道銚子旭線に至る約3・1キロです。道路幅員については、片側歩道3メートルを含み12メートルです。本路線の関係については、今後地元の見解も伺いながらさらに十分な検討をしなければならぬと考えています。

広域農道沿いに建設か

交流センター

Q 合併直後の市民アンケートで50何人もの方々が道の駅、海の駅等々の設置を希望しています。交流センターみたいなものがどこかにできるといいうなことを聞いたが、そういうものが本当にこれから推進していくのかどうか。

A 干潟地区の万力Ⅱ期地区という広域農道の谷丁場の北側、約1000町歩あるところの土地改良事業が本年採択され、今年換地原案の作成、来年から面工事に入っていく予定です。地区の中でどうしても土地改良事業の農家負担の軽減を求めたいということで、3町歩を非農用地設定させていただきました。その中でできれば民間の力で交流直売所的

なものをつくりたい、そういう発想の考えだと思っています。

新名称公募の理由は

飯岡荘

Q 国民宿舎飯岡荘の新名称の公募について、どのような理由で新名称の公募が行われるのか。

A 飯岡荘は実績が年々落ちてきており、現在のままではなかなかお客様様のニーズに応えられない。このままでは、飯岡海岸の施設の拠点が維持できなくなってしまう。そういった思いから、国民宿舎運営委員の皆さん方と毎月のように協議をさせていただいています。そして専門家の方々、コンサルタントなどの方々の知恵をかりしていただきながら、しっかりと経営診断をしていただき、どうしたらいいのかというところに来て、今のままでは少し難しいだろう。

旭市には食材なら何でもそろうという非常に大きな利点というのがあるのだから、それを生かした食彩の宿という形がいいだろうということで、名前も少し飯岡荘から変えた方がいいのではないかと意見が出てきました。

飯岡荘そのものをリニューアルして、それで相変わらず国民宿舎飯岡荘では少し売り込むのに弱いだろう。そういった意見が大半を占めていたというのが事実です。

常任委員会の審査

公営企業常任委員会

6月20日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された2議案の審査を行いました。

議案第4号旭市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「条例の定数は120人であるのに対し、実際は143人いるということであるが、弾力的な運用規定があるのか。」との質疑では、「定数は国の認可の数であり、弾力的に動かすような規定はないが、定数確保から入学辞退あるいは途中で辞めることを見込んで、1割程度定数より多く合格者を出している。国・県においても、定数を確保するためには多少の見込みは仕方ないと判断しているが、現在、見込みすぎたということでは県から指導を受けているので、今後は定数を超えないようにしていきたい。」との答弁がありました。

議案第5号旭市国民宿舎使用料条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「宿泊料の全国平均はどのくらいか。また、寝具のクレームが多くあるというが、この宿泊料の設定で対応できるのか。」との質疑では、「全国の1泊2食付きの平均は、大人が7711円、小学生が6510円である。また、寝具については経営改善の中で取り組んでおり、

計画では、すべて新しいものにすることで進めている。」との答弁がありました。その他質疑を尽くし慎重審査の結果、2議案とも全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、防衛省技術研究本部電子装備研究所飯岡支所及び銚子市立総合病院を視察しました。

文教福祉常任委員会

6月22日(金)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案及び3請願の審査を行いました。

議案第8号工事請負契約の締結についての審査では、「中央小学校の防水工事は、何年前に行っているのか。」との質疑では、「平成7年度に防水工事を実施している。」との答弁がありました。また、「一般競争入札にできなかった経緯は何か。」との質疑では、「現行制度を見直しているところであり、現在、検討委員会を設置し、一般競争入札・ダイレク

ト入札・電子入札の3つをテーマに、いち早く出来るものは何かということでは、一般競争入札の額の引き下げが割合早く取組めるのではないかと検討している状況である。」との答弁がありました。また、「鶴巻小学校の入札は、なぜ不調になったのか。また、随意契約ができなかった理由は何か。」との質疑では、「不調に

なった理由はわからないが、再度入札を6月28日にやり直すということで現在準備を進めている。また、2回の入札を行ったあとに、随意契約の交渉を2度行ったが、予定価格に届かなかったことから不調になったものである。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、議案第8号、議案第9号については賛成多数で、議案第2号、議案第3号については全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第3号地域手当の県内格差支給の是正に関する意見書採択に関する請願についての審査では、「格差による教職員の質や教育レベルの低下が危惧されるが、賃貸住宅の家賃など経済的な格差があるのだから、地域格差が生じることは仕方がない。」との意見が出され、請願第3号については、賛成多数で不採択とし、請願第1号、請願第2号については全員異議なく採択と決しました。

委員会の審査終了後、萬歳小、中和小、古城小の施設の状況等について視察しました。

総務常任委員会

6月25日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された5議案の審査を行いました。

議案第6号財産の取得についての審査では、「車両はどのくらいの期間で更新されるのか。また、今後1、2年で更新



道の駅オライはすぬまにおいて説明を受ける総務常任委員会委員

しなければならぬものは何台くらいあるのか。」との質疑では、「通常15年から16年経過すると更新をしている。また、今後更新される車両は、本署の水槽付消防ポンプ自動車と化学車が予定されている。はしご車も対象になっているが、購入金額が高いためから触媒をつけてオーパーホールを実施し、あと6年くらいもたせる予定である。」との答弁がありました。

議案第7号財産の取得についての審査では、「救助工作車両の活動状況はどうなっているのか。また、古くなった器具や車両はどうなるのか。」との質疑では、「出場件数は平成16年が36件、17年が39件、18年が26件であり、主なものは交通事故である。また、古くなった器具については、救助隊が県内あるいは県外へ要請されたときの予備として確保している

が、車両については廃棄の予定である。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、5議案とも全員異議なく原案のとおり可決並びに承認すべきものと決しました。

なお、入札制度の改革ということで、建設工事の一般競争入札の対象額を、現行の3億円以上を1億円以上に引き下げて7月以降の入札から適用させ、県や他市町村の動向を見ながら、さらに段階的な引き下げを実施するとともに、ダイレクト入札を10月中の試行を目途に、また、電子入札の導入についても1年前倒しして平成21年度に導入できるように準備を進めていくとの報告を受けました。

委員会の審査終了後、道の駅オライはすぬまを視察しました。

建設経済常任委員会委員協議会

本委員会への付託案件がないことで、6月21日(木)午前9時より委員協議会が開催されました。所管事項の報告を受けた後、茨城県茨城町にある「ポケットファームどきどき」を視察しました。

J A茨城が運営母体であり、総面積が4ヘクタールと広大な敷地の中に農産物や特産物販売センター、花木や鉢物、切花の栽培温室、森の家庭料理レストラン(100席)、バーベキュー広場、風のドーム、キッズドーム、山羊・子豚のいるミニ牧場、子どもたちが水遊びのできる「じゃぶじゃぶ池」などが緑豊かな敷地

の中にバランス良く配置されていました。

農産物・特産物販売センターですが、売場面積が匝瑳市のふれあいパークの約4倍あり、毎朝、契約農家の皆さんが新鮮な野菜を直接店頭に並べるそうで、種

行政視察報告

文教福祉常任委員会



ひと・まち交流館京都（京都市下京区）にいて

類も豊富です。野菜たちの生みの親・生産者表示付き、このことがお客様と生産者の交流の原点になるそうです。

旭市でも農産物・特産物販売センターを考えてみてはいかがでしょうか。

としての渋川市民センターと定員60名の学童保育所「のびっこ渋川」、また、障害者の就労訓練の場として喫茶コーナーが設けられていた。2階は、障害者福祉センターとして、視覚障害者の調理実習や機能訓練の指導相談、また、障害者が寝たまま入浴できる機械設備などが備えられていた。3階は、児童デイサービスセンターで、乳幼児期から成人期に至るまでのライフステージに応じた、一貫した相談や支援を行う場として保育室や発達相談室があり、屋上には砂場やプールなども備えてあった。複合施設であることから利用者にとっては便利なのところもあるように見受けられるが、1階の学童保育は、現在36名の利用で、また、市民センターには、1日28名程度の利用があることから地域住民にどう受け入れられるのか、今後の利用状況が気になる。

24日、奈良県葛城市では、平成7年9月に整備された福祉総合ステーション「ゆうあい」と平成16年4月にオープンした地域総合スポーツクラブ「ウエルネス新庄」を視察。「ゆうあい」では、温水プール、バタールゴルフ場等が整っており、平成18年度の利用者数は、約12万人であった。施設が高台にあり、見晴らしと環境の良い場所での介護が受けられることは、心がやすらぎ、また、リフレッシュすることも介護には大切なことではないかと感じた。「ウエルネス新庄」では、指定管理者に、スポーツクラブに精通した㈱コナミスポーツに運営を任せており、温水プール、マシニングジム、スタジオ等を備えた施設で平成17年度利用者数は、約31万人、1日の平均が約千人で、視察した日も、たくさんの方が汗を流しており、健康に対する意識と運営方法やスタッフの対応が利用者を受けているのではないかと感じた。

25日、京都市下京区では、人と人が交流し、人が主役のまちづくりの場として、平成15年6月にオープンした、市民活動総合センターを含む4つのセンターからなる複合施設、ひと・まち交流館京都を視察。施設は、多目的な利用が可能で、ボランティア活動やNPO活動などの営利を目的としない、社会に対して貢献する市民の自発的な活動を推進支援する拠点となっている。1日の利用者数は約700人で、都市人口密度の高い京都ならではの施設と感じた。

終わりに、各市の特徴ある施設を視察して、特に奈良県葛城市は、健康と福祉の両面から取り組み、それらが地域住民に十分理解されて、健康に対する意識や世代間を越えた交流の場づくりに大きく貢献されており、学ぶべきことが多く見られ、大変、有意義な視察でありました。

平成19年度

旭市子ども議会

7月24日(火)開催

一般質問に立った議員は25名、市内小学校15校から15名、中学校5校から10名。議場内には、傍聴の子どもたちが25名、2階の傍聴席には学校関係者などが大勢詰めかけ、議場で展開される一般質問の模様を体験することができました。

議事進行役は旭市議会の嶋田茂樹議長が務め、答弁者には市長をはじめ教育長、各課長が出席し、それぞれ質問に応じて答弁にあたりました。

一般質問は、環境問題・ごみ問題・通路の整備や街灯及び防犯灯対策についてなど、多岐にわたる内容の質問となりました。

議会のうごき

平成19年2月28日以降の議会のうごき

〔3月〕

- ・大原幽学没後150年墓前祭
- ・旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- ・市内小・中学校卒業式
- ・東総広域水道企業団議会定例会
- ・旭市立海上中学校校舎等改築工事竣工式

〔4月〕

- ・第11回袋公園桜まつり
- ・市内小・中学校入学式
- ・旭中央病院附属看護専門学校入学式
- ・第165回千葉県市議会議長会定例総会

〔5月〕

- ・ゆめ半島千葉国体旭市準備委員会第1回常任委員会
- ・旭市遺族会定期総会
- ・第2回旭市商工会通常総代会
- ・旭市文化協会総会
- ・第52回千葉県東部五市体育大会
- ・平成19年度旭市区長会定期総会
- ・旭市商業振興連合会第1回通常総代会
- ・旭市老人クラブ連合会定期総会
- ・旭市母子寡婦福祉会総会
- ・山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会通常総会並びに第10回銚子連絡道路整備促進地区大会
- 〔6月〕
- ・旭市中央児童遊園SL改修記念式典
- ・平成19年度旭市消防団ポンプ操法大会
- ・第73回関東市議会議長会定期総会

編集後記

昨年の12月に議会だより編集委員に推薦されまして議会だより編集に参画させていただくこと3回となり、短期間ではありますが議会広報の持つ重要性を認識し、より開かれた議会を目指し積極的な情報提供を心がけ、住民の目線で知りたい情報を早くわかりやすくするため努力したいと考えております。

そのために率直な表現を志し、内容がソフトムードに終わらないよう果敢に踏み込む姿勢が必要ではないかと考えております。反面、議会だよりもマスコミの一員として報道には義務と責任が伴います。報道の責任とは、公平さだけでなく公正さも求められるので、編集に携わるものとして倫理も忘れてはならない大事な要素と言えらると思います。議会だよりが旭市発展の原動力になるよう、今後とも一層の努力をしてまいります。

(編集委員・平野 浩)

議会を傍聴しましょう

第3回定例会は9月4日(火)から行われます。

詳しくは議会事務局へ

☎62-5304



子ども議会の様子

子ども議員と質問内容

発言議員	発言の要旨
1番 鈴木 豪 中央小学校	ごみを減らすためにぼくたちにできることは
2番 伊藤 美果 琴田小学校	公共施設の遊具の安全について
3番 小野山由梨 干潟小学校	なぜ干潟公園にはごみ箱が設置されていないのか
4番 林 花奈美 富浦小学校	富浦地区の海岸を海水浴場にしてほしい
5番 林 健彦 矢指小学校	AEDを学校に
6番 大塚 裕喜 共和小学校	出荷できない野菜の加工場を
7番 加瀬 力 豊畑小学校	旭市の環境問題の対策について
8番 渡邊 裕紀 鶴巻小学校	ごみ問題について
9番 渡辺 浩基 滝郷小学校	小学校対抗の競技会について
10番 加瀬 詩織 嚶鳴小学校	安全に歩ける道路に
11番 佐久間 唯 飯岡小学校	地球温暖化を防ぐために
12番 飯田 涼太 三川小学校	あさひ健康パーク整備(パークゴルフ場)について
13番 柴田 貴裕 萬歳小学校	学校の遊具を修理してください
14番 熱田真理子 中和小学校	合併について
15番 伊藤亜希子 古城小学校	魅力ある地域づくりはどのように行われているか
16番 高野 瞳 第一中学校	サンモールについて
17番 加瀬啓一郎 第一中学校	ごみ問題について
18番 小田部一樹 第二中学校	旭市の環境問題への取り組みについて
19番 越川 真衣 第二中学校	旭市の危険な道路問題について
20番 近藤 沙南 海上中学校	海上中周辺の街灯について
21番 坂本 堅斗 海上中学校	中学生による「新しいまちづくりの提案」のその後について
22番 阿部 良祐 飯岡中学校	市内の街灯及び防犯灯について
23番 加瀬 晴香 飯岡中学校	飯岡の砂浜環境について
24番 木内 陽子 干潟中学校	学校予算(図書費)について
25番 植田 修也 干潟中学校	廃棄物の管理について